

当地メルボルン市にきた7月中旬に7時40分と17時10分であった日出・日没は、8月下旬には6時40分と18時になりすっかり春めいてきた。2~10℃、7~12℃であった一日の最低・最高気温は、7~16℃になり街中の木々は国花のミモザやモクレンの花に交じり新芽を吹き始めてきた。しかし、街中の人達にまだ防寒着姿が多い。手袋を持ってきたのが幸いである。一日のうちに四季を感じる当地のこと外出には傘も欠かせない。

末娘夫婦のアパートから徒歩7分、ホスト不在中に飼猫の世話や多くの家財を我が家同然に使用する我がAirbnbは市の中心から北に電車で13分。長方形の網目状に区画整理された旧市街地で、屋根



に旧来の暖房用煙突を備える1900年前後の時代様式を持つ家屋に囲まれる。宅地町内の仕切り道路や路端には馬車道に使った小石が敷き詰められ、車の通行や雨水の流下を助ける。150年前の都市計画が数次の変遷を経て今に生かされている。1851年に130kmの内陸地に発見された金塊が、オーストラリアの鉱物資源開発の切っ掛けを作り、メルボルンが1860年代に開発交易の中心となったことから、ビクトリア王朝時代の建築物が英国のロンドンに次いで多い。

市中央のクイーンビクトリア市場などの生鮮物市場や近場の食料品店で、冬場でも野菜や果物など生鮮品が豊富だ。農水産物は日本でなじみの深い種類が多い。ごぼうやこんにゃく、日本酒など特殊な食材は日本食材店で手に入る。商品の価格は果物・野菜A\$3~5、精白コシヒカリA\$5、牛肉A\$20~45、鶏・豚・羊肉A\$20、生ミナミマグロやカジキの切り身A\$30~40、鶏卵A\$5~8、白パン(一山)A\$3~5、500ccビールA\$6~8と日本市場よりは概して高価である。商品価格が1kg単位で、1A\$=約90円であることを考慮しても高い。輸入品の防疫検査が世界一厳しい当地のことであり全ての食材に安心し、高値を我慢する。グルテンフリーや有機農法の食材の増加が目立つ。

2,300万人と少ない全国人口に国内市場の拡大は期待困難で、輸入品も多い。日本が依存する鉄鋼石や石炭、LNGなど鉱物資源や農産物などの輸出に依存する経済は国際市場の影響を受ける。首相の年間所得US\$51万、大卒初任給42万円、30歳労働者の平均賃金508万円は世界最高位にある。OECD関係27ヶ国中最高位の最低時給額を本年よりA\$17.28(週給A\$656.90)に引き上げ、若年低額所得者の保護に努めている。ワークホリデー利用の学生でも年間数十万円の余剰金を取得し学生生活は日本より楽だと云われる。市への留学生数はロンドン、ニューヨーク、パリに次いで多い。

経済振興のため1900年代後半より外国人技術者や難民を受け入れたことから、国民の多くは移住者で、ビクトリア州の住人580



万人の4分の1は170ヶ国からの外国人だ。家族のなかで国籍が異なり、小学校の1クラスに30数ヶ国出身者が在籍することもあるなど多国籍文化一色である。街中にオーストラリア料理の看板はなく、軒並みに異なる国籍が匂うパブやレストラン、喫茶店、生活用品店が並ぶ。最も一般に話されているのは英語、イタリア語、ギリシャ語、広東語、アラビア語、中国(北京)語、およびベトナム語である。

国営テレビABCは自国番組の他に、日本のNHKを含む20ヶ国の出身地ニュース番組を毎日30分間母国語で放送する。最近では、日本の官庁や一流企業へのアメリカNSBによる情報スパイ事件や、終戦記念日の行事を英連邦の戦勝記念行事などと並行し日本のNHK以上の時間を割いて報道していた。国会議長が、議員活動費の数十万円を他に流用したとして辞任に追い込まれるとか、議員の資質向上のために大学教授による政治学の受講を義務付けるための論議がされるなど市民の監視は厳しい。

金鉱発見後の人口急増にともないメルボルンは1901年の連邦政府設立から27年まで首都であった。このため、1956年の南半球で初めてのオリンピック競技場や多くの競技施設の他に市街地の4分の1を占める緑地公園約460ヶ所を擁し、地域住民が家族で集う。週末に主要都市で開催されるオーストラリアフットボールやラグビー、サッカー、クリケット、ネットボールでは、各地方拠点のチームを応援する。全国的にファンが多いフットボール会場への電車やバスはその時刻にファンで寿司詰めとなる。南東部に集中するラグビーでも世界第1位のオールブラックス(NZ)とワラビ(AUST)のゲームなど日本で見られない試合にファンが熱狂する。1858年以来ゲームを主催するフットボール協会では、協会の収益のためではなく、多国籍市民による地域融和のための事業だと説明する。テニスの全豪オープンや競馬のメルボルンカップ、F1オーストラリア・グランプリなどの国際レースも例年ファンを沸かす。

各種博物館などの公共施設が多く、5億年前からの先住民コリン族やイギリスからの移民、第2次大戦後の2次移民、難民、世界の戦争や自然災害などの歴史や芸術、科学などの広範な分野で子供たちの課外教育にも活用される。これらは学生や高齢者に無料で、我々外国人高齢者にも無料や割引で解放される。

金鉱の露天掘りなど鉱物資源の開発技術は市街地や港湾の開発に応用され、1860年の馬車便から軌道下埋め込み牽引索を集中管理するトラムを経て、電動式トラムは25路線1,763駅を結び、延長250kmにわたる世界最長の路線サービスを首都圏に提供する。バス路線や郊外へのメトロ路線も並行開発されている。3者共通のプリペイドカードMykiで乗下車を管理し、混雑の時間帯を別に区間料金制を採用する。最短区間での1日乗車賃はA\$7.52(2時間でA\$3.76)で、学割や年金生活者の無料割引とか優遇策も適用される。



多民族が協力共存するせいか、駅頭や街中で親切な対応を受けたことが多い。これもメルボルンが過去5年間連続して世界一住み易い都市と評価される一因かもしれない。

*うえおかりゅうたろう 理事長 専門分野:水産資源開発、加工流通、事業経営 JICA派遣主要任地:スリナム、アルジェリア、チュニジア、ドミニカ、マダガスカル